vol.20
くりんちゃん通信
芦田川環境マネジメントセンターニュースレター
2016年2月

【発行・事務局】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555　広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル1F　エフエムふくやま内
TEL (084) 920-8777
E-mail aemc@fm777.co.jp
Homepage
http://fm777.co.jp/pc/aemc/

TOPICS 1　「河川浄化チャレンジ月間」を実施しました。

芦田川環境マネジメントセンター、国土交通省　福山河川国道事務所及び福山市は、芦田川の水質浄化に取り組む『河川浄化チャレンジ月間』を、平成27年11月1日～11月30日の1ヵ月間実施しました。

『河川浄化チャレンジ月間』は平成19年度からスタートしており、通算で9回目となる今年度は、瀬戸川・高屋川流域を中心に、芦田川流域全体に"家庭で出来る水質浄化の取り組み"の実践を呼びかけました。

なお、右下図に示す学区・小学校には、チラシやアンケートの配布・回収にご協力をいただきました。

ご協力ありがとうございました！

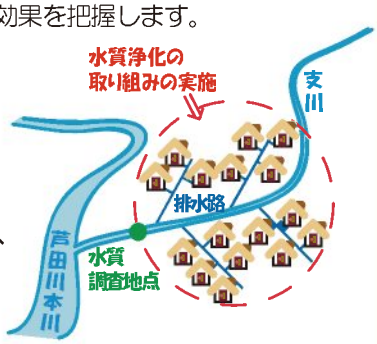
◆ 調査方法 ◆

1.取り組み前、取り組み中の水質調査

瀬戸川・高屋川流域の調査地点において、取り組み前と取り組み中に水質調査を行い、その結果を比較することで、取り組みの効果を把握します。

2.アンケート調査

各家庭で、家庭でできる水質浄化の取り組み5項目を実践していただき、その取り組み状況や感想について、アンケートに記入していただきます。



◆ 河川浄化チャレンジ月間に関するQ&A ◆

Q：設問内容の“その他の取り組み”について、具体例を書いてくれると分かりやすいのですが。

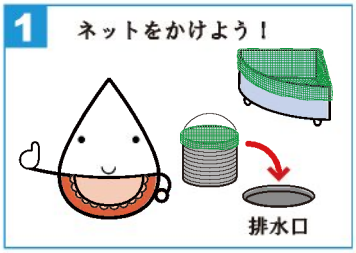
A：チャレンジ月間の５つの取り組み（クリーン５）以外にも、芦田川環境マネジメントセンター（以降、AEMC）では、『芦田川環境法17条』として、芦田川をきれいにするための取り組みを提案しています。具体的には、米のとぎ汁は植木や鉢植えの水やりに使う、アクリルタワシを使って洗剤の使用量を減らす、山や海、川に行ったら自分のごみは持ち帰る等です。

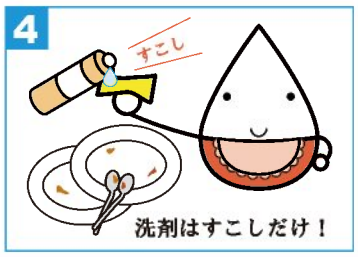
詳しくはAEMCのホームページ（http://fm777.co.jp/pc/aemc/cando/pdf/kanpo.pdf）にも掲載しておりますので、ぜひご覧いただき、実践してみてください。

◆ 取り組み項目（クリーン5） ◆

※「クリーン５」とは、みなさんが家庭でできる環境にやさしい5つの取り組みをまとめたものです。

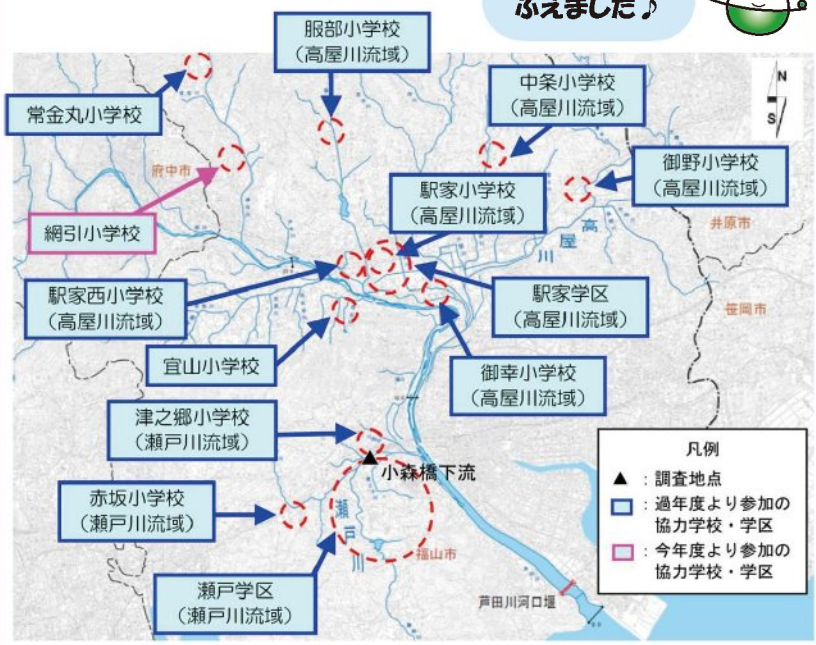
①排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない
②汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う
③食用油は直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりしてごみとして出す
④食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす
⑤洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける





◆ 主な実施対象エリア ◆

新しく仲間がふえました♪



※本事業は、公益社団法人日本河川協会「きれいな川と暮らそう」基金および公益社団法人広島県環境保全センター「平成27年度水環境保全活動助成事業」基金の助成を受けて実施しました。

TOPICS 2 河川浄化チャレンジ月間の実施結果をご報告します!

参加者からは、意識の変化や今後の取り組みへの決意など、年間を通じた取り組みとして流域全体へ展開していくことが期待できる積極的な意見を多数いただきました。

以上の結果より、日頃から家庭でできる水質浄化の取り組みが重要であると改めて確認できました。今後は、このような芦田川の水質浄化に向けた草の根運動が契機となって、各家庭に水質浄化の取り組みが定着し、芦田川流域全体の水質が改善していくことを期待します。

◆ 参加者の声 ◆

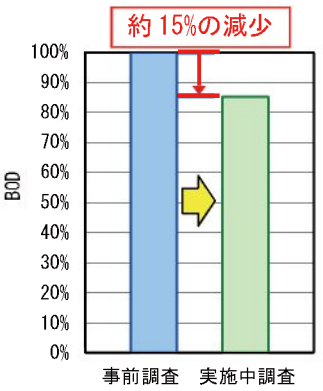
○以前から取り組んでいたが、取り組めてない項目に関しては意識できるようになった。行動に移さないといけないと思った。
○この様なアンケートは出来るだけ大勢の人にしていただくと意識も高まると思う。
○前から取り組んでいたけど、アンケートに書くことによってもっと関心が深まった。
○調査に協力し、日頃から頭の中ではわかっていてもなかなか実行していなかった。改めて一人の力は小さいけれど続けていく事の大切さを感じた。これからも取り組んでいこうと強く思った。
○自分からは出来なかったけど「河川浄化チャレンジ月間」をきっかけに始めることが出来た。
○全市の取り組みとして、学校現場、コミュニティー全体等での啓発活動をし、全市民の意識向上に努めるべきだと思います。
○クリーン5を楽しく実行した。
○なにげなく見ていた芦田川がこんなに汚れているとは思ってもいなかった。こういう事を通して、皆が芦田川に限らず自然を大切に出来るようになったらいいなと思います。

「河川浄化チャレンジ月間」へのご参加ありがとうございました!

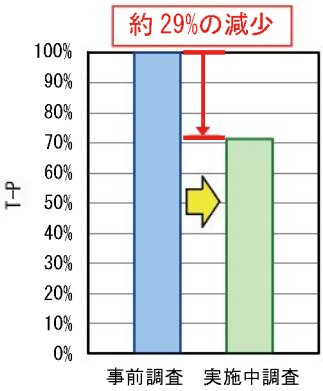
◆ 水質調査結果 ◆

本調査はあくまで改善傾向を把握するものであり、事前・事中ともに各1回のみの調査となるため、水質の減少率は正確な削減率というわけではありません。しかしながら、各取り組み項目について、流域住民の皆様に積極的に取り組んでいただいた結果、取り組み前と比べて、取り組み後の生活排水等の汚れの量が削減されたものと考えられます。

【水中の汚れの量(BOD)】



【水中のリンの量(T-P)】



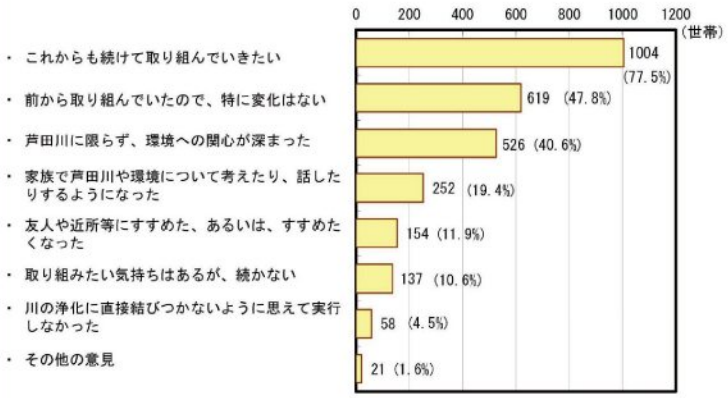
【図:水質調査結果の比較(瀬戸川流域 小森橋下流)】

◆ アンケート調査結果 ◆

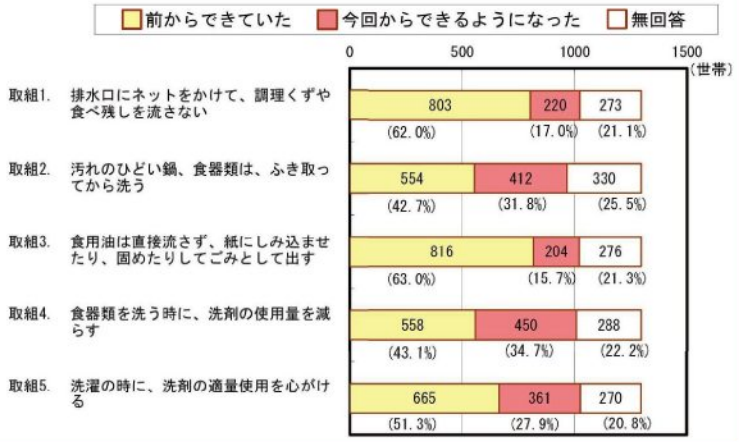
※アンケート回答数:1,296世帯

取り組みを実施した感想については、「これからも続けて取り組んでいきたい」という意見が、アンケートにご回答いただいた世帯の約8割を占め、多くの世帯が“今後も継続して取り組みたい”という回答でした。また、取り組み後の暮らしの変化についての設問では、約3割の世帯で、今回から新たに「汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う」「食器類を洗うときに、洗剤の使用量を減らす」「洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける」について実践していただくことができました。

設問:「水質浄化の取り組み」を実行して、感じられた事、行動の変化等はいかがですか?



設問:「水質浄化の取り組み」を実行した結果、どのように暮らし方に変化が現れたかをお尋ねします。



芦田川環境マネジメントセンター会員募集中!!

芦田川環境マネジメントセンター(AEMC)では、今後も芦田川の水環境をテーマにさまざまな活動の企画を予定しています。そこで、これらの活動のさらなる充実を図るため、活動に参加もしくは支援してくださる個人や団体を募集しています。 募集要項・入会申し込み書等の入手は、ホームページ(http://fm777.co.jp/pc/aemc/)をごらんください。

AEMCで検索してね! aemc 検索

皆様のご参加をお待ちしております。